

山中だより

山中 してもらおう
キャッチ させられる人から
フレーズ する人へ

枚方市立山田中学校 学校通信 第11号

発行 令和元年8月26日 校長 交久瀬 善浩

◆◆さあ、2学期がスタートです。◆◆

夏休みが終わりました。あなたにとって、この夏休みは充実したものになったでしょうか。あなたは何かできましたか。少し振り返ってみてください。

夏休みに入る前の「山中だより」8号で、地域の行事に参加するように呼びかけましたが、あなたは参加することができましたか。中学生としてできることで地域の方の手伝いや支援はできたでしょうか。わずか1ヶ月の期間だけで地域行事に参加し手伝いができた人は、とても積極性のあるポジティブな人だと思います。将来は、地域だけでなく就職先やいろんな場面で、その中心的担い手となって活躍してくれることでしょう。大いに期待しています。



しかし、この短期間にそれができた人はほんの一握りの人だと思います。大半の人はできなかったでしょう。まずもって、どうすれば地域行事の手伝いに参加できるのかの糸口すらつかめなかったのではないのでしょうか。地域行事に中学生がその担い手として参加する地盤（そのような地域文化）が育っていないのですから、そうなるのは当然です。実は、地域のいろんな役をされている方も、中学生に積極的に地域行事に参加してほしいと願っておられます。しかし、地域の役員の方もどのように中学生に地域の中で声掛けをして良いかわかりませんし、クラブ等で中学生は参加しにくいだろうから声をかけにくいとか考え、悩んでおられます。ですから、中学生の皆さんから積極的に回覧板などを見て情報を集め、手伝えそうなものがあれば、大人の方から声を掛けていただけるのを待つのではなく、自分から参加すると名乗り出るようにしましょう。

2学期以降も地域行事がたくさんあります。この夏休み中に参加できなかった人は、自治会等でまわってくる回覧板や地域の広報板などを注意して読んで、行事に積極的に参加し、あなた自身と地域の方とのパイプをつくっていきましょう。そのパイプはこれからのあなたの人生にとって、必ず大きなプラスになってきます。自身の力で地域に一步を踏み出す勇氣、期待しています。

※地域行事への参加は、祭りなどにお客さんとして参加するだけでなく、祭りの実行委員などの方を手伝って、祭りの運営の仕事をするということです。

「してもらおう」の祭り参加ではなく、「する」の祭り参加で山中生の力を精一杯発揮しましょう!!



さて、本題の2学期についてです。

2学期は学校生活にとってとても大切な学期です。2学期を制することができた人は、この年度を制することができたと言ってよいでしょう。そのために次の点を頭において、2学期を過ごしてほしいと思います。

☆頭においてほしい点

- ・文化祭や地域教育協議会主催の「山田ふれあいタウン」等の行事があります。行事を通じて深い人間関係を築けるチャンスです。生涯を通じての親友ができるのもこの時期が多いです。
- ・授業日数が一番多い学期です。当然授業内容も一番多く、内容も難しくなります。2学期にしっかり学習した人は、その学年の学習内容をしっかり理解できる可能性が大変高いです。逆に2学期に学習をサボると、取り戻すのが困難となり、3年生の12月、進路決定のときに泣くことになるでしょう。
- ・3年生は2回の実力テスト（3学期に3回目）があり、進路の最終的な決定をする大切な学期です。

- ・1・2年生は、クラブで3年生が引退し、新しい人間関係の中で新たな出発となります。特に2年生はこれからいろんなことで中心となりますから、ここで頑張るか逃げるかが今後の中学校生活の明暗を分けることになるかもしれません。何事にも自発的に取り組み、しっかりと自分の足場を固めていきましょう。



◆2学期の主な予定◆ (あくまで予定です。急な変更があるかもしれませんので、今後の手紙等でご確認下さい。)

- ・3年実力テスト→1回目：8月28日(水)、2回目：10月29日(火)、3回目：1月9日(木)
- ・1年オーケストラ鑑賞→9月5日(金)
- ・2年校外学習→9月13日(金)
- ・文化祭→9月27日(金)
- ・中間テスト→10月8日(火)～10日(木)
- ・生徒会役員選挙→10月23日(水)
- ・1年生職業講和→10月24日(木)
- ・2年生職場体験／3年生保育体験→10月31日(木)～11月1日(金)
- ・3年生保護者集会→11月14日(月)
- ・土曜授業→2回目：11月16日(土)、3回目：1月18日(土)
- ・期末テスト→3年生：11月20日(水)～22日(金)
- ・小学生クラブ体験→11月22日(金)
- ・山田ふれあいタウン→11月30日(土)
- ・期末個人懇談→12月13日(金)～20日(金)
- ・終業式→12月23日(月)



◆挨拶について◆



山田中学校の生徒の皆さんは、とてもよく挨拶ができています。朝の登校時だけでなく、廊下等であった時も、きちんと挨拶する人がとても多いです。特に感心するのは、学校に来られたお客さんにきちんと大きな声で挨拶できることです。とても素晴らしいと思います。来校された高校の先生など、「山田中学校の生徒さんはとても良く挨拶しますね。気持ちいいです。」というように褒めていらっしゃいます。

よって挨拶についてはこれまで朝礼でも話をしていませんでしたが、私の考えも知っておいてほしいので少し書いておきます。

(挨拶について)

挨拶は人のためにするのではなく、自分のためにするものです。挨拶できるかできないかは、人生における大きなチャンスをつかめるか否かくらいの差になって出てきます。特に自分から挨拶の声が掛けられる人は、自分で考え、勇気をもって行動に移すことができる人です。だからチャンスをつかむ確立も相当高いです。一方、他人から挨拶されたら挨拶を返す人は、他人が何かしてくれるのを待つ人です。山中のチャッチフレーズの「する人」ではなく「してもらう人」です。他人に指示されたり与えられたりするのではなく、自分できちっと考え自ら行動できる人にならなければなりません。その練習だと思い、自ら先に挨拶できる人になってください。

人生のチャンス、幸福は、自分一人で作り出せるものではありません。他人との関係において初めて生まれてくるものです。そして他人との関係を結ぶ最初の行動は、挨拶です。人との関係はすべて挨拶から始まります。だから、挨拶できない人は、自分がかめるチャンスや幸福を、自らの行為で逃がしているのだということを認識しておいてください。そして、今は勇気がなくてできなくても、できるだけ早いうちに自分から挨拶できる人になってください。